

要改善課題に対し具体的な手段を講じる



ハイブリッド形式で実施

日本代協

2021年度 通常総会を開催

総会では冒頭、日本代協の金子智明会長が挨拶。日本代協の主な取り組みとして「損害保険大学習過程コンサルティングコース」の受講奨励・運営、日本アカデミーの利用促進、「社会貢献活動」「BCP策定」「会員増強(仲間づくり推進)」「環境変化への対応」の5点を挙げた金子会長は、このうち「環境変化への対応について」これまで経験

Web環境の整備を進める 地震保険の普及促進など重点課題に

日本代協は6月11日、2021年度通常総会を開き、2020年度の事業報告承認の件や財産目録承認などの件、監事退任に伴う監事選任の件の3議案を審議し、いずれも可決承認された。今総会は会場とWebのハイブリッド形式での実施となった。



金子会長

したことがないスピードで環境が変化しているなか、それを乗り越えるための保険会社の戦略と代理店の経営方針が合致せず、さまざまな問題が起きている現実がある」と指摘。

こうした状況をふまえたうえで「日本代協としても現場の実態を把握し、改善が必要な課題に対しては具体的な手段を講じていく考えだ」と述べた。そのための取り組みの一環として、今年4月に金融庁保険課長と各地代協会長たちとの意見交換を行ったことを挙げ、代理店合併・統合、手数料ポイント制度、乗合問題など代理店経営上のさまざまな課題のほ



塩野会長

第13回通常総会開催 Webを活用し

埼玉代協は5月21日、JACK大宮宇宙劇場(埼玉県さいたま市)で第13回通常総会を開催した。新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、会場参加者を最小限に抑え、Webでの配信も行った。当日は4つの議案(①2020年度事業報告及び収支計算書正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等の会計報告及び監査報告承認の件②2021年度

た。新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、会場参加者を最小限に抑え、Webでの配信も行った。当日は4つの議案(①2020年度事業報告及び収支計算書正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等の会計報告及び監査報告承認の件②2021年度

た。新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、会場参加者を最小限に抑え、Webでの配信も行った。当日は4つの議案(①2020年度事業報告及び収支計算書正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等の会計報告及び監査報告承認の件②2021年度

た。新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、会場参加者を最小限に抑え、Webでの配信も行った。当日は4つの議案(①2020年度事業報告及び収支計算書正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等の会計報告及び監査報告承認の件②2021年度

た。新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、会場参加者を最小限に抑え、Webでの配信も行った。当日は4つの議案(①2020年度事業報告及び収支計算書正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等の会計報告及び監査報告承認の件②2021年度

た。新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、会場参加者を最小限に抑え、Webでの配信も行った。当日は4つの議案(①2020年度事業報告及び収支計算書正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等の会計報告及び監査報告承認の件②2021年度

た。新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、会場参加者を最小限に抑え、Webでの配信も行った。当日は4つの議案(①2020年度事業報告及び収支計算書正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等の会計報告及び監査報告承認の件②2021年度

積極的な活動を実施

野忠会長が挨拶。多発する自然災害や保険代理店を取り巻く環境変化に言及し、「新型コロナウイルス感染症はこの先も大きな影響を及ぼすと考えられ、自社のBCP策定やお客さまへの情報提供、DXへの取り組みなどが重要。事業の発展にお客さま保護に役立つと確信している。環境変化に合わせて進化していかねばならない。意識が変われば行動が変わるはず」と述べた。

総会開催に先立ち、塩野会長が挨拶。多発する自然災害や保険代理店を取り巻く環境変化に言及し、「新型コロナウイルス感染症はこの先も大きな影響を及ぼすと考えられ、自社のBCP策定やお客さまへの情報提供、DXへの取り組みなどが重要。事業の発展にお客さま保護に役立つと確信している。環境変化に合わせて進化していかねばならない。意識が変われば行動が変わるはず」と述べた。

野忠会長が挨拶。多発する自然災害や保険代理店を取り巻く環境変化に言及し、「新型コロナウイルス感染症はこの先も大きな影響を及ぼすと考えられ、自社のBCP策定やお客さまへの情報提供、DXへの取り組みなどが重要。事業の発展にお客さま保護に役立つと確信している。環境変化に合わせて進化していかねばならない。意識が変われば行動が変わるはず」と述べた。

野忠会長が挨拶。多発する自然災害や保険代理店を取り巻く環境変化に言及し、「新型コロナウイルス感染症はこの先も大きな影響を及ぼすと考えられ、自社のBCP策定やお客さまへの情報提供、DXへの取り組みなどが重要。事業の発展にお客さま保護に役立つと確信している。環境変化に合わせて進化していかねばならない。意識が変われば行動が変わるはず」と述べた。

か、保険会社と連携した好取組事例などについて現場の声を伝えたことを報告した。

第1号議案の2020年度事業報告承認の件では同年度の活動を振り返り、「(新型コロナウイルス感染症拡大等の影響から)Web環境の整備を行い、オンライン面談を駆使した。対外的には行政、損保協会、保険会社各社、業界他団体等との

情報交換を重ねてきた結果、業界における存在感を増すことができ、対内的にはWeb環境構築のための支援を行い、各代協の活動を後押しした結果、仲間づくり推進(会員増強)の取り組みや日本代協アカデミーの利用推進を除いておおむね計画通りに推進することができた」と総括。

一方で、都道府県代協の取り組みには温度差があるとの認識を示し、「代協によっては諸課題(役割分担と意欲・行動量、事務局体制、Web環境整備、役員人事の硬直化、会員資格・会費体系のばらつき、支部活動

の強化等)が解消されておらず、組織活性化の進捗には濃淡がみられる」と課題をあげた。

会員状況については、同年度末時点での会員数が1万1344人で、対前年度比424店の減店(入会324店、退会748店)となったと報告。要

因の一つとして、代理店の機能を追求する損保各社の販売戦略により、代理店の統廃合が一段と進んだことを挙げた。

こうしたなかでも324店の新規入会があったことについては、業法改正関連情報ならびに代理店の賠償責任および日本

代協アカデミーに関する情報提供や代理店経営サポートデスクの活用といった代協加入のメリットを未加入代理店が認識してくれたことが入会につながったとの認識を示した。

都道府県代協による統一活動では、重点取り組みとして地震保険の普及促進に努めたことを報告。例年とおり10月には「地震保険啓発・普及キャンペーン」を全国各地で実施し、コロナ禍での状況をふまえながらポスター18725枚、ポケットティッシュ・ちらし4万9200セットの一斉

みとして地震保険の普及促進に努めたことを報告。例年とおり10月には「地震保険啓発・普及キャンペーン」を全国各地で実施し、コロナ禍での状況をふまえながらポスター18725枚、ポケットティッシュ・ちらし4万9200セットの一斉

配布を行ったとした。学校教育への取り組みでは、リアル訪問形式での講座設置がコロナ禍で難しいことから、オンライン会議システムの活用を中心に5代協(岩手、山梨、愛知、三重、大阪)が9校1821名の学生に対して講座を開いた。



(損保版)

第1~4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区朝本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2200円
(消費税、送料込み)
©新日本保険新聞社 2021

シンニチ保険Web
www.shinnihon-ins.co.jp
購読者専用バックナンバー
閲覧パスワード
visitorBaoh
2021年8月2日 AMまで
※偶数月の第一月曜日正午ごとに変更